

第6回 大阪 **880** 万人訓練
(平成 **29** 年 **9** 月 **5** 日(火)実施)
報告書

平成 **30** 年 **2** 月

大阪 **880** 万人訓練 実行委員会事務局

訓練概要

①実施日時

平成 29 年 9 月 5 日（火）

- 午前 11 時：地震発生（屋外スピーカーや館内放送などでお知らせ）
- 午前 11 時 03 分頃：大津波警報発表（訓練用のエリアメール／緊急速報メールなどでお知らせ）

②訓練の目的

府民のみなさんが、様々な情報源から地震・津波発生情報を入手し、地震・津波発生時に自らの身を守る行動に繋がるように、防災意識の向上を図ること。

③訓練の想定及び方針

- 想定：南海トラフ巨大地震
- 方針：訓練の着実な実施
市町村によるエリアメール／緊急速報メールを活用した訓練情報の発信の拡充

④訓練情報発信ツール

- エリアメール／緊急速報メール（対応機種のみ）：携帯電話会社の防災情報サービス
- おおさか防災情報メール（登録者のみ）：大阪府の防災情報サービス
- Yahoo! 防災速報（登録者のみ）：Yahoo! JAPAN の防災情報サービス
- NTT ドコモ地震防災訓練アプリ（登録者のみ）：緊急地震速報の専用ブザー音が鳴動するアプリ

訓練結果概要

11 時に地震発生、11 時 03 分に大津波警報発表という第 3 回以降と同様の想定で、11 時 03 分頃にエリアメール／緊急速報メールを発信する、実態に即した形での訓練を実施した。

また、第 2 回から実施している、市町村による訓練情報メールの発信は、今回 41 市町村が実施し、災害・避難情報の発信訓練のさらなる拡充を行った（第 5 回は 39 市町村、第 4 回は 36 市町村、第 3 回は 33 市町村、第 2 回は 18 市町村）。

エリアメール／緊急速報メールの覚知率（訓練開始の合図を受け取った割合）は、おおさか Q ネットのアンケート結果では、74.5%（昨年 67.6%）と 7 割を超え、大阪のような大都市では、携帯電話等が緊急時の災害情報の伝達手段として有効であることを確認した。



大阪府発信の訓練メール（11:03）

また、昨年度に引き続き、全ての市町村において連動訓練が実施されており、同アンケート結果によると、訓練の認知率（毎年このような訓練が行われていることを認識している割合）が7割弱あることから、本訓練の定着が一定図られているものと推察される。

一方で、同アンケート結果によると、訓練の事前浸透率（9月5日に、この訓練が行われることを知っていた者の割合）が5割弱、訓練情報受信後、訓練に参加した人が2割程度となっており、本訓練の目的の一つである実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていけるかが、引き続き課題となっている。

広 報 状 況

これまでと同様、府及び市町村における活用可能なツールを最大限に活用したほか、様々な企業等とのタイアップ等により広報活動を行った。

具体的には、府政だより（6・9月号）や全市町村広報誌への掲載を行ったほか、府・市町村ホームページや府のフェイスブック・ツイッターへの掲載、知事定例記者会見（8/30）など様々なツールを活用して広報を行った。

また、昨年に引き続き、訓練事前浸透率の向上を図るべく、8月26・27日（土・日）に関西ばど様の協力を得て、大阪ガス ハグミュージアム（大阪市西区）で開催された親子体験型イベントの中で、880万人訓練への参加を呼び掛けるプレイベントを実施した（2日間イベント参加者約7500名）。加えて、梅田地区を中心に協力可能な企業に幅広く呼びかけ、各企業が保有する電光掲示板などの広報ツールを昨年度以上に活用させていただいたほか、YAHOO!JAPAN トップページへの掲載等、マスコミの方々や多くの府民の方々が目にしていただけるように意識した広報活動を展開した。

さらに、民間企業等とのタイアップとしては、第3回からご協力をいただいている三井住友海上火災保険(株)さまに、タイアップポスター・リーフレットを作成いただくとともに、ポスター・リーフレットのデザインを昨年度に引き続いて学校法人 日本教育財団 大阪モード学園さまに、ご協力をいただいた。また、公益財団法人 日本公衆電話会のご協力により、訓練の概要や日頃の備え等を掲載した「うちわ」を作成し、地域の関係団体等に配布を行った。

このほかの取り組みとしては、急増する外国人観光客への広報活動の新たな試みとして、大阪観光局の梅田電光掲示板を活用し、日本語、英語、中国語、韓国語にて、訓練の周知を行ったほかホームページ（OSAKA INFO）でのPRのほか、梅田・難波・関空の観光案内所、佐川急便さまのサービスセンターに多言語の訓練リーフレットの配架等を行っていただいた。

また、各鉄道・バス会社やラジオ各社に広報協力を呼びかけ、車内放送やポスター掲示、ラジオ番組等での告知を行っていただいたほか、スポーツ新聞やミニコミ誌等にも幅広く協力を呼びかけ、掲載等いただいた。

【主な広報活動状況】

- 三井住友海上火災保険(株)タイアップポスター合計 3,000 枚、リーフレット合計 100,000 枚
- 公益財団法人 日本公衆電話会 うちわ 4,000 枚
- 道頓堀雪印メグミルクネオン（4月～8月）
- スーパー銭湯待合室モニター（7月、8月）
- Yahoo!ニュース及び The Page 大阪(動画)（9月4日及び5日）
- 民間の電光掲示板を活用した広報（JR大阪駅構内、大阪市営地下鉄、大阪高速鉄道(株)、梅田地下街電光掲示板、ヨドバシカメラ、京セラドーム大阪、ウインズ梅田、ポートピア梅田、大阪信用金庫、ハークスレイ、Jリーグサッカーの試合会場（市立吹田サッカースタジアムほか））

【下線部新規】

訓練事前浸透率

訓練事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）は、**45.8%**であった。

昨年に引き続き、**880**万人訓練への参加を呼び掛けるイベントの実施や、梅田地区を中心に協力を可能な企業に幅広く呼びかけ、各企業が保有する電光掲示板などの広報ツールの活用、**YAHOO!JAPAN**トップページへの掲載などの広報活動にも取り組んだものの、十分な浸透を図ることができなかった。

アンケート結果を踏まえ、浸透経路の割合が高かったテレビや広報誌などあらゆる広報媒体を引き続き活用するとともに、携帯電話・スマートフォン利用者の多くが閲覧利用する**SNS**やインターネットを最大限に活用することで、訓練周知と参加者数の拡大につなげていくことが引き続き必要と考える。



大阪ガス ハグミュージアム
親子体験型イベントでのPR（8月26・27日）

訓練開始合図

今回の訓練は、第3回以降と同様、**11**時に地震が発生し、その**3**分後に大津波警報が発表されるという想定で、**11時00分**には防災無線の拡声器や屋外スピーカー等による訓練開始の合図と、**11時03分頃**にエリアメール／緊急速報メールを発信するという、実態に即した形で実施した。

屋外スピーカー等による訓練開始の合図を受け取った覚知率は、**47.1%**であり、合図を受け取った経路としては、屋外スピーカーが最も多かった。

一方、エリアメール／緊急速報メールにより訓練情報を受け取った覚知率は、**74.5%**であった。大阪府のメール発信（大津波警報の発表）に続いて、府内**41**市町村からメール発信（避難情報の発表）が行われた。（第5回は**39**市町村、第4回は**36**市町村、第3回は**33**市町村、第2回は**18**市町村）。

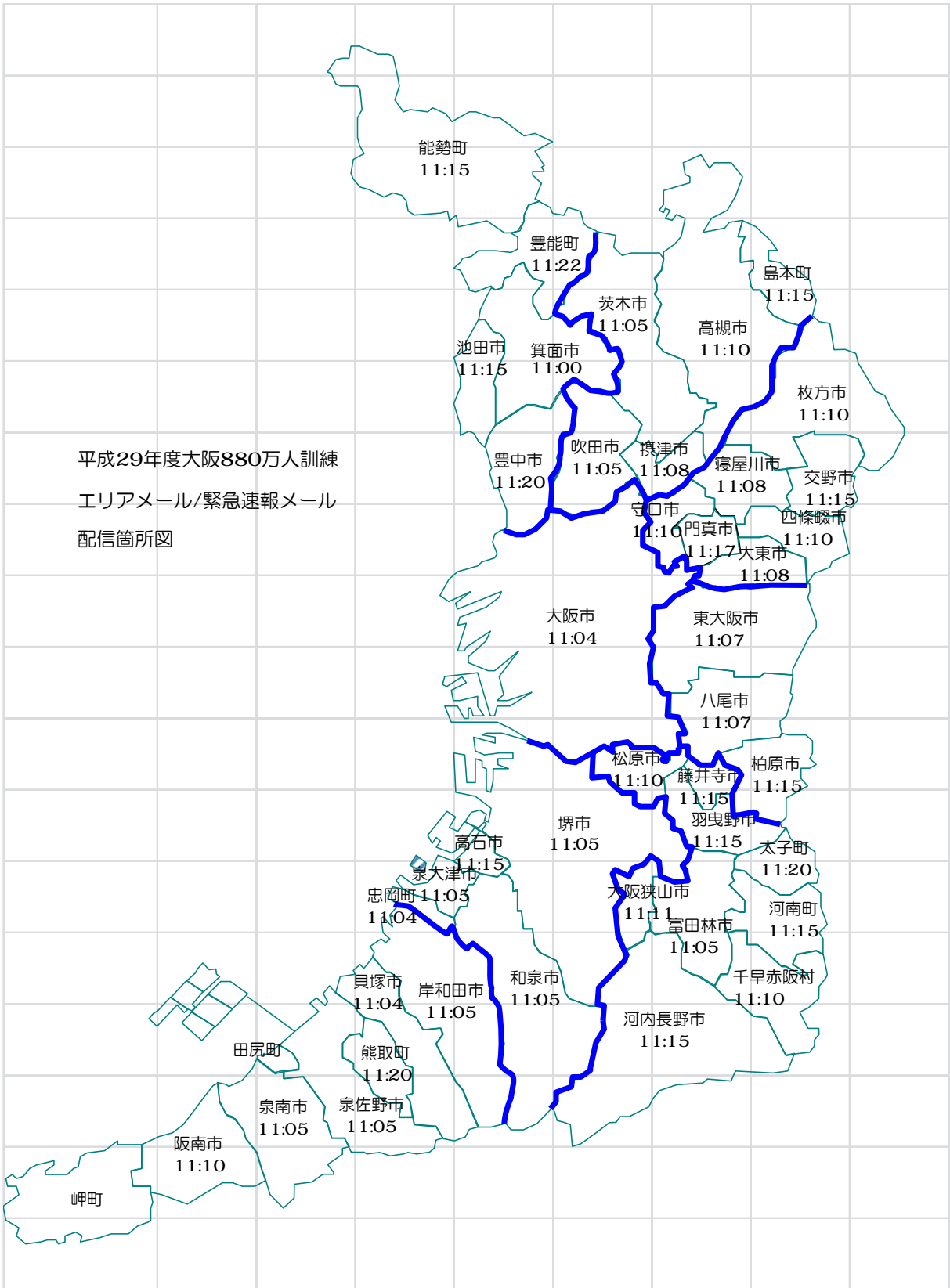
本訓練も6回目となり、府民のエリアメール／緊急速報メールに対する認識とともに、全国各地で毎年のように様々な災害が発生していることから、府民の防災に対する意識が高まっているものと考えられる。



屋外スピーカー
による訓練開始
の合図（11:00）



貝塚市発信の訓練メール（11:04）



事前訓練

訓練当日までに、避難方法や非常持ち出し品の点検などの日常の備えについて考えておく事前訓練への参加率は **25.5%**であった。

当日訓練

エリアメール／緊急速報メール等で訓練情報を受け、自分の身の安全を守ることやその後、どう行動するかなど考える当日訓練への参加率は **20.3%**であった。



訓練当日、阪南3区の皆さまと避難する
松井知事と藤原貝塚市長

連動訓練

本訓練と連携して市町村や自治会等の他主体が実施する避難訓練、防災研修などの連動訓練への参加率は **8.3%**であった。

府民の反響等

過去5回に比べ、エリアメール／緊急速報メールが届かないという府民の声が大幅に減っていることや、本訓練も6回目となり、府民のエリアメール／緊急速報メールに対する認識とともに、全国各地で毎年のように様々な災害が発生していることから、府民の防災に対する意識が高まっているものと考えられる。

一方で、訓練情報受信後、訓練に参加しなかった人が7割を超えるなど、本訓練の目的の一つである、実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていけるかが、引き続き課題となっている。



地震発生を想定した訓練で、机の下に身を隠す松井知事（出典写真：毎日新聞）



小学生らと防災クイズに参加する松井知事（貝塚市立北小学校）

各団体の取り組み状況

大阪府庁各部	
部局・所属名	取組内容
政策企画部	身を守る行動, 職員の安否確認訓練
危機管理室	身を守る行動, 情報伝達訓練等
総務部	身を守る行動, 代替執務スペースへの移転訓練, 避難誘導訓練, 非常用発電機の操作手順確認訓練, 大阪弁護士会による法律相談の実施手順確認訓練
財務部	身を守る行動, 避難訓練(職員), 情報伝達訓練, 880万人訓練リーフレットに記載の訓練行動事前研修
府民文化部	身を守る行動
福祉部	身を守る行動, 情報伝達訓練
健康医療部	身を守る行動
商工労働部	HP掲載, 身を守る行動, 防災・危機管理チェックリストによる自己点検, 安否確認訓練, 関係機関への訓練事前周知
環境農林水産部	啓発コーナー展示, 身を守る行動, 避難訓練(職員・来庁者等), 職員参集訓練, 情報伝達訓練, 情報収集訓練, 衛星電話の使用確認訓練
都市整備部	身を守る行動, 情報伝達訓練, 情報収集訓練
住宅まちづくり部	身を守る行動, 職員参集訓練, 情報伝達訓練
会計局	職員参集訓練, 緊急時の財務処理体制を確保するための訓練
IR推進局	防災講習会, 身を守る行動
議会事務局	身を守る行動, 災害時応急対策マニュアルに基づく議場における避難誘導訓練の 実施, 安否確認メールのテスト配信
教育庁	身を守る行動, 避難訓練, 情報伝達訓練, 館内放送
監査委員事務局	身を守る行動
人事委員会事務局	身を守る行動, 避難訓練(職員), 情報伝達訓練, 職員安否確認訓練, 災害対策本部設営訓練, 応急手当訓練

市町村	
自治体名	取組内容
大阪市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, Twitter・大阪市防災アプリでの広報
堺市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 職員参集訓練、情報伝達訓練, 情報収集訓練, 消火訓練
岸和田市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(職員), 情報伝達訓練, 情報収集訓練
豊中市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 帰宅困難者対応訓練(9/8実施), 防災パネル展
池田市	エリアメール/緊急速報メール
吹田市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 帰宅困難者対応訓練(9/8実施)
泉大津市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動
高槻市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動
貝塚市	エリアメール/緊急速報メール, 身を守る行動, 避難訓練(事業所従業員・市立小学校)
守口市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(職員・来庁者・自治会等), 避難所開設訓練
枚方市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 職員参集訓練, 啓発コーナー, ツイッターアラート
茨木市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動 避難訓練(職員)
八尾市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 職員参集訓練, 情報伝達訓練, 情報収集訓練
泉佐野市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 避難所開設訓練, 災害対策本部訓練, 消火訓練
富田林市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送
寝屋川市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送
河内長野市	エリアメール/緊急速報メール, 身を守る行動
松原市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動
大東市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動
和泉市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(職員)
箕面市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動
柏原市	エリアメール/緊急速報メール, 身を守る行動, 防災演習ゲーム(一部市立小学校)
羽曳野市	エリアメール/緊急速報メール, 身を守る行動
門真市	エリアメール/緊急速報メール, 身を守る行動, 避難訓練(一部の市立幼稚園・保育園)
摂津市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動
高石市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動
藤井寺市	エリアメール/緊急速報メール, 身を守る行動, 職員参集訓練, 職員安否確認訓練

自治体名	取組内容
東大阪市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線(戸別受信機のみ配信), 館内放送, 身を守る行動, 聴覚障がい者等災害時ファクス情報発信
泉南市	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動
四條畷市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動, 情報伝達訓練
交野市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動
大阪狭山市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動, 啓発コーナー
阪南市	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(職員・来庁者)
島本町	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 身を守る行動
豊能町	エリアメール/緊急速報メール, 館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(職員・来庁者)
能勢町	エリアメール/緊急速報メール
忠岡町	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 身を守る行動, 避難訓練(職員)
熊取町	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線(事前周知・終了放送)
田尻町	身を守る行動, 情報伝達訓練
岬町	館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(職員・来庁者)
太子町	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(町立幼稚園・園児、町立小学校・生徒)
河南町	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 館内放送, 身を守る行動, 避難訓練(職員・来庁者), 啓発コーナー
千早赤阪村	エリアメール/緊急速報メール, 同報系防災行政無線, 身を守る行動, 避難訓練(幼稚園・小中学校)

各種団体(※事務局把握分のみ)

団体名	場所	取組内容
大阪モノレール		運行中の全列車を緊急停止措置とあわせて、乗客に身を守る行動を伝えるアナウンス
セブンイレブン		朝礼時に、大阪地区事務所全員に対して、大阪880万人訓練及び災害の備えについて周知及び啓発。安否確認システムを利用した安否報告、避難場所、避難経路の確認、備蓄品の用意など連動訓練を実施
佐川急便		安否確認システムを利用した安否報告訓練の実施、「Osaka Station City Service Center」内宅配カウンター及び大阪市中央区内のサービスセンター(18か所)への多言語リーフレット(日・英・中・韓)の配架
大阪信用金庫		安否確認システムによる安否報告訓練の実施、店内放送及び店舗サイネージによる訓練PR、だいしんNOW(9月号)への訓練記事掲載
三井住友海上火災		ポスター・リーフレットの制作
学校法人専門学校大阪モード学園		ポスター・リーフレットのデザイン作成協力
関西ぱど		プレイベントへの協力、情報誌「ぱど」への訓練記事掲載
大阪観光局		OSAKAINFO(HP)による広報、観光案内所(梅田)のサイネージを活用し、日・英・中・韓4か国語で訓練PR、観光案内所(梅田・難波)へのリーフレット配架
大阪府国際交流財団(OFIX)		多言語版リーフレット作成協力、HPによる訓練PR
大塚製薬		当日訓練への協力(参加者へポカリスエットイオンウォーター、災害時用カロリーメイトの配付)
大阪いずみ市民生活協同組合		社員の安否確認訓練、店内ラックによるPRへの協力、HPを活用した880万人訓練PR、店内放送
(株)ハークスレイ		「HOKKA VISION」、食事配達サービス会員向け機関誌「食通通信」を活用した訓練PR
住友生命保険相互会社		くらしの知恵シートへ訓練記事掲載、個別訪問時に府民へ直接配付
シューワ(株)		社員への安否確認、取引先関係者との共同訓練(施設被害報告、燃料配送、給油作業の模擬訓練)「大阪880万人訓練チラシ」をお客様へ配付(3000件)、HPによる訓練PR

団体名	場所	取組内容
東京海上日動火災保険株式会社		エリアメール受信後、身を守る行動を実施
グンゼ株式会社		エリアメール受信後、社内放送を実施。社員は配付されているヘルメットを着用し、身を守る訓練を実施
トールエクスプレスジャパン貝塚支店	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
(株)三菱地所住宅加工センター	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
三井金属工業(株)パーライト事業部 大阪工場	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
(株)菰下鋸断	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
奥本製粉(株)	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
チヨダウーテ(株)貝塚工場	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
(株)テサック産業資材分室倉庫	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
日本通運(株)	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
大阪機船(株)南海支店	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
ミスタ物流(株)	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
水鉄タクシー(株)	貝塚市	身を守る行動・指定避難所への避難訓練
八尾市文化会館	八尾市	身を守る行動、館内各所への連絡・確認訓練を実施
八尾市立歴史民俗資料館	八尾市	身を守る行動、避難訓練
八尾市立埋蔵文化財調査センター	八尾市	身を守る行動、避難訓練
安中新田会所跡旧植田家住宅	八尾市	身を守る行動、避難訓練
八尾市立しおんじやま古墳学習館	八尾市	身を守る行動、避難訓練
大阪電気通信大学	寝屋川市	館内放送、初動措置、安否確認、指定場所への避難
生活協同組合コープこうべ コープ島本	島本町	館内放送、身を守る行動

「大阪880万人訓練」に関するアンケート 分析結果概要

- 調査目的：アンケート回答者の訓練認知率や事前浸透率、参加率、訓練実施状況等を調査することによって、大阪府民全体の訓練参加状況等を推察し、今後の訓練の周知方法や訓練内容の改善を図る。
- アンケート方法：おおさかQ ネット（大阪府政策マーケティング・リサーチ）
府民のニーズや、各施策や事業の課題把握のため、民間のインターネット調査会社が保有する多数のモニターを活用したアンケート調査。
- 実施期間：平成 29 年 9 月 5 日（火）12 時から 9 月 7 日（木）
- サンプル数：国勢調査結果(平成 27 年)に基づいた、性・年代・居住地（4 地域）の割合で割り付けた 18 歳以上の大阪府民 1,000 サンプル

【主な調査結果】

1. 訓練の認知率（毎年このような訓練が行われていることへの認知度）→ 69.8%
2. 訓練の事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）→ 45.8%
浸透経路では「①テレビ」「②広報誌(市町村広報)」「③広報誌(府政だより)」の順に割合が高かった。
3. 訓練開始合図の覚知率（11 時）→ 47.1%
覚知経路では「①屋外スピーカー」「②館内放送」「③テレビ」の順に割合が高かった。
4. 訓練開始合図の覚知率（11 時 03 分：エリアメール／緊急速報メール）→ 74.5%
5. アンケート回答者の訓練参加率
 - (1)訓練当日までに、どのように避難するかや、非常持ち出し品等の日常の備えについて考えておく
事前訓練参加率→ 25.5%
「①最寄りの避難所の確認」「②備蓄物資（非常食）の準備」の割合が高かった。
 - (2)メール等で訓練情報を受け、自分の身の安全を守ることや、その後どう行動するかなど考える
当日訓練参加率→ 14.7%（11 時の合図）、20.3%（11 時 03 分の合図）
「地震・津波が起こった時のことを考えてみた」割合が最も高かったが、訓練情報受信後、訓練に参加しなかった人の割合が 7 割を超えるなど、本訓練の目的の一つである、実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていくかが引き続きの課題となっている。
 - (3)本訓練と連携して市町村や自治会等の他主体が実施する避難訓練等に参加する
連動訓練参加率→ 8.3%
訓練の参加内容としては、「①避難訓練」「②防災研修」「③情報伝達訓練」の順に割合が高かった。
6. 訓練参加合図の覚知者の訓練不参加理由
「①忙しかった/仕事であった/取り込み中だった」「②緊急速報メール等の着信ができれば十分であると思った」の順に割合が高かった。

おおさかQネット「第6回大阪880万人訓練」に関するアンケート

実施日：平成29年9月5日（火）正午～9月7日（木）

回答者数 1,000名

■本日、平成29年9月5日（火曜日）午前11時、大阪府内で一斉に実施した「大阪880万人訓練」について、お尋ねいたします。※大阪880万人訓練の詳細については、こちらの大阪府のホームページをご覧ください。http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/h29_880.html

[Q1] 大阪880万人訓練を平成24年度から継続して実施していますが、あなたは、毎年このような訓練があることを知っていますか。	回答者数	1,000	—
	知っている	694	69%
	知らない	306	31%
[Q2] あなたは、今年度の訓練が9月5日午前11時にあることを事前に知っていましたか。	回答者数	1000	—
	知っていた	458	46%
	知らなかった	542	54%
[Q3] 9月5日午前11時にこの訓練があることをどのような媒体・経路で知りましたか。	回答者数	458	—
	広報誌（府政だより）	63	14%
	広報誌（市町村広報）	78	17%
	ミニコミ誌・タウン誌	2	0%
	ポスター	17	4%
	リーフレット	4	1%
	車内放送（公共交通機関）	26	6%
	ホームページ	26	6%
	SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン等）	62	14%
	新聞	40	9%
	テレビ	126	28%
	ラジオ	40	9%
	口コミ（家族、友人・知人等）	61	13%
	自治会からの連絡・周知	27	6%
	職場からの連絡・周知	59	13%
学校・幼稚園等からの連絡・周知	12	3%	
その他	24	5%	
[Q4] あなたは、この訓練があることを知ってから、地震や津波が発生したときにどのような行動をするか考えましたか。	回答者数	1000	—
	はい	471	47%
	いいえ	529	53%

<p>【Q5】 以前から、災害（地震、津波など）に備えていたこと、又は確認していたことはありますか。</p>	回答者数	1000	—
	建物の耐震診断	133	13%
	地域が揺れやすい土地、地盤であること	100	10%
	家具や収納ロッカーなどの転倒防止措置	205	21%
	津波浸水想定図やハザードマップ	180	18%
	備蓄物資（非常食）の準備	248	25%
	身を守るための行動	229	23%
	交通機関が止まったときの帰宅ルート	95	10%
	最寄りの避難所の所在	372	37%
	災害が発生したときの対応について家族との話合い	164	16%
	災害用伝言ダイヤルの利用方法	78	8%
	その他	1	0%
	何もなかった/していない	358	36%
<p>【Q6】 この訓練では、午前11時の訓練開始の合図として、『巨大地震』が発生していることを知らせるために、職場・学校等の館内放送や屋外スピーカー、テレビ・ラジオ等でアナウンスを行いました。あなたは、この合図（アナウンス）を受け取る、又は聞こえましたか。</p>	回答者数	1000	—
	できた	471	47%
	できなかった	529	53%
<p>【Q7】 Q6で「できた」と回答した方に伺います。午前11時の訓練開始の合図は、どのような媒体・経路で受け取ることができましたか。</p>	回答者数	471	—
	館内放送（公共施設、職場・学校、ショッピングセンター、映画館等）	88	19%
	屋外スピーカー	191	41%
	車内放送（公共交通機関）	15	3%
	テレビ	48	10%
	ラジオ	19	4%
	訓練主催者からの呼びかけ（市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた場合）	38	8%
	その他	127	27%

<p>〔Q 8〕 Q6で「できた」と回答した方に伺います。訓練開始の合図を受け取った後、あなたは、この訓練に参加しましたか。ここで「参加」とは、「地震」から身の安全を図る行動のほか、頭の中で「地震」が発生したときの行動をイメージするだけでも「参加」としてください。</p>	回答者数	471	—
	参加した	147	31%
	参加していない	324	69%
<p>〔Q 9〕 Q8で「参加した」と回答した方に伺います。訓練開始の合図を受け取った後、あなたはどのような事をしましたか。</p>	回答者数	147	—
	地震が起こった時のことを考えてみた	126	86%
	テーブルの下に身を隠すなど身の安全を図った	37	25%
	崖やブロック塀から離れた	8	5%
	建物から出た	9	6%
	市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた	7	5%
	その他	1	1%
<p>〔Q 10〕 あなたは、携帯電話やスマートフォンを持っていますか。</p>	回答者数	1000	—
	持っている	951	95%
	持っていない	49	5%
<p>〔Q 11〕 訓練当日の11時03分頃、あなたは、携帯電話で緊急速報メール等による「大津波警報」発表を知らせる訓練情報を受け取ることができましたか。</p>	回答者数	1000	—
	できた	676	68%
	周りの人の携帯電話が鳴ることで訓練開始に気付いたなど、何らかの媒体・経路で合図を知った	69	7%
できなかった	255	26%	
<p>〔Q 12〕 Q11で「できた」又は「周りの人の携帯電話が鳴ることで訓練開始に気付いたなど、何らかの媒体・経路で合図を知った」と回答した方に伺います。訓練開始に合図を受け取った後、あなたは、この訓練に参加しましたか。ここで「参加」とは、「津波」から身の安全を図るために高台や高い建物などへの避難のほか、頭の中で「津波」が発生したときの行動をイメージするだけでも「参加」としてください。</p>	回答者数	745	—
	参加した	203	27%
	参加していない	542	73%

<p>[Q13] Q12で「参加した」と回答した方に伺います。緊急速報メール等による訓練開始の合図を受け取った後、あなたはどのような事をしましたか。</p>	回答者数	317	—
	津波が起こった時のことを考えてみた	132	65%
	高台や高い建物などへの避難を行った	35	17%
	地震が起こった時のことを考えてみた	110	54%
	地震に対する行動を起こした	30	15%
	市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた	9	4%
	その他	1	0%
<p>[Q14] Q12で「参加していない」と回答した方に伺います。参加しなかった理由としてあてまるものをすべて選択してください。</p>	回答者数	542	—
	緊急速報メール等の着信ができれば、十分であると思っていた	196	36%
	「大阪880万人訓練」は職場や学校等で行われる避難訓練だと思っていた	57	11%
	頭の中で「津波」が発生したときの行動をイメージするだけでも「訓練」であるという認識がなかった	51	9%
	忙しかった／工作中だった／取り込み中だった	259	48%
	面倒だった	43	8%
	訓練を忘れていた	21	4%
	無意味なものだと思った	30	6%
	その他	31	6%
<p>[Q15] この訓練をきっかけにして備えたこと、又は確認したことをお聞かせください。</p>	回答者数	1000	—
	建物の耐震診断	61	6%
	地域が揺れやすい土地、地盤であること	54	5%
	家具や収納ロッカーなどの転倒防止措置	92	9%
	津波浸水想定図やハザードマップ	104	10%
	備蓄物資（非常食）の準備	148	15%
	身を守るための行動	222	22%
	交通機関が止まったときの帰宅ルート	81	8%
	最寄りの避難所の所在	193	19%
	災害が発生したときの対応について家族との話合い	109	11%
災害用伝言ダイヤルの利用方法	62	6%	

[Q 1 5] この訓練をきっかけにして備えたこと、又は確認したことをお聞かせください。	その他	6	1%
	何もしなかった/していない	359	36%
	こんな訓練があったことを知らなかった	180	18%
[Q 1 6] この訓練の当日や前後に、市町村や自治会、職場・学校などが主催する避難訓練などに参加しましたか。	回答者数	1000	—
	参加した	83	8%
	参加していない	917	92%
[Q 1 7] 参加した訓練の種類についてお答えください。	回答者数	83	—
	避難訓練	58	70%
	防災研修	34	41%
	情報伝達訓練	16	19%
	消火訓練	14	17%
	その他	1	1%
[Q 1 8] Q 1 6 「大阪 880 万人訓練」について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。	回答者数	367	—
	①賛成	134	37%
	②実施方法等に意見あり	119	32%
	③反対	27	7%
	④その他の意見	87	24%
[Q 2 1] あなたのご職業を教えてください。	回答者数	1000	—
	会社役員・団体役員	48	5%
	会社員（正社員・契約社員・派遣社員）	346	35%
	公務員・団体職員	23	2%
	パート・アルバイト	117	12%
	専業主婦（夫）	207	21%
	学生	32	3%
	無職	166	17%
	その他	61	6%

大阪 880 万人訓練実行委員会

委員長：大阪府知事

副委員長：大阪市長・堺市長

委員：大阪府教育長・大阪府市長会長・大阪府町村長会長・西日本旅客鉄道株式会社取締役兼専務執行役員 近畿統括本部長・西日本電信電話株式会社 大阪支店 設備部長・日本放送協会 大阪放送局長・KDDI 株式会社 関西総支社長・関西鉄道協会 技術委員会委員長・関西テレビ放送株式会社 常務取締役・大阪放送株式会社 取締役編成局長・株式会社NTTドコモ 常務執行役員 関西支社長・ソフトバンク株式会社 総務本部 総務サービス統括部 地域総務部長

大阪府事務局：大阪府 危機管理室（災害対策課 災害対策グループ）

大阪市事務局：大阪市 危機管理室

堺市事務局：堺市 危機管理室